



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 27 年 5 月 3 日(日)
秋田道・八郎湖サービスエリアでイベント開催 編

昨年 8 月、のしろまち灯り・夏の PR にとプレイベントを秋田自動車道下り線の太平山パーキングエリアで開催しました。その経験を踏まえて、今回は連休中に北東北・能代山本地域を訪れる人、特に能代カップ観戦に来られる方々に木製機材の良さを感じながら地域の美味しいものや見どころを知っていただくため、能代カップ初日に、同じく下り線の八郎湖サービスエリアでイベントを開催しました。

昨年から主催団体については紆余曲折がありましたが、NEXCO 東日本秋田管理事務所長・太田徹さんのご尽力で、ここを所管する(独)日本高速道路保有・債務返済機構の許可があり、のしろ白神 NW 主催による東北初の無人高速道路施設でのイベント開催となりました。

連休中ということもあり、いつものイベントほど多くはありませんでしたが、地域の美味しい食材で地元を元気にしたい！という 3 団体—三種町のみたね産直隊、能代商工会議所青年部、鶴形地区そば製造加工組合—がご参加下さいました。また、(株)ウッディさんからは動物や花台など人気の木製品をお預かりして販売しました。

上町すみれ会は姉妹街道である会津若松市の品物や防災朝市の連携先、南三陸町と酒田市の逸品を初めて販売。常盤ときめき隊は山菜やおにぎり、ピクルスを販売。山本地域振興局は木高研パンフをはじめ県や管内の観光パンフレットの配布、秋田県北 NPO 支援センターのスギッチせんべいの販売を行いました。NEXCO 東日本秋田管理事務所もオリジナル観光ガイドブックやドライブマップを配布しました。

どっと大勢が押し寄せて大混雑というわけではありませんでしたが、ほぼ途切れることなく来客があり、100 部用意した資料は全て無くなり、終了時間前に完売してしまった商品もありました。爽やかな好天にも恵まれ、皆様のご協力のおかげで初めての試みは無事に終了しました。反省点も色々ありますが、参加団体のご意見も考慮しながら、NW ならではの取り組みにつなげていきたいと考えています。

文：渡辺 千明

〇みたね産直隊のブログ：

http://mitane-sanchoku.doorblog.jp/archives/cat_60260109.html

〇能代商工会議所青年部の HP：<http://www.noshiro-yeg.jp/>



木製機材は青空と緑に良く合います。運搬の容易さを実現するため、現地組み立て式の屋台や積み重ね可能なテーブル&ベンチといった開発中の新機材の試作品も初登場しました。



青年部の方々にも大人気だった足の長い背の高いスギッチ(上)。



B1 グランプリ出場をめざすテントは遠くからも目立ちます(左)。白神あわび茸に白神豚を巻いて炭火で焼いた産直隊のみたね巻、能代産のネギに豚肉を巻いて焼いた青年部のフヒ串(右)。ほど良い塩加減で、どちらも素材のうまみが伝わります。



売り上げが NPO 支援センターの活動費となるスギッチせんべい。安さもありますが、お勧め上手な店員さんのおかげで人気商品でした。